

○Web サイトにオプトアウトする書式

「 婦人科開腹手術と BMI についての検討 」

○研究の概要

近年、肥満症例は増加傾向にあります。当科では婦人科三大悪性腫瘍である、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌を中心に、良性および悪性疾患の手術を年間約 330 例行っており、その中にはある一定の頻度で肥満症例も存在しています。一般的に、肥満症例は周術期（手術前・中・後）の呼吸器トラブル（換気不良、無気肺、肺炎）、創部感染、下肢深部静脈血栓症などのリスクが高く、手術操作も難しくなることが多いとされています。しかし、悪性腫瘍に対する治療においては、肥満だけを理由に手術を回避することはできません。そこで、本研究では当科における肥満症例の手術の現状について検討することで、今後の肥満症例の手術をより安全に実施することを目指します。

○研究の目的と方法

下記該当期間に当科にて開腹術（腹腔鏡手術は除く腹部手術）を受けた患者様を対象とします。患者様の BMI（身長、体重）、診断名、手術の内容などについて、電子カルテに記録されている臨床情報を抽出します。それらを解析し、肥満症例を非肥満症例と比較した開腹術の安全性や危険性について検討します。本研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を遵守して行います。

○本研究の参加について

本研究への参加・不参加に関わらず、利益・不利益を生じることはありません。患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることもありません。個人を特定可能な情報は解折に使用されず、データは個人情報削除し、匿名化した状態で取り扱います。本研究への不参加をご希望の方やご質問のある方は下記問い合わせ先までご連絡下さい。

○調査する内容

電子カルテから取得した以下の診療情報を用います。BMI（身長、体重）、診断名、術式、手術時間、出血量、術中術後合併症など。

○実施期間

研究対象期間：令和 3年 1月 1日～令和 4年 12月 31日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和 8年 3月 31日まで

○研究成果の発表

当研究によって得られた結果は学会発表、学術雑誌への論文等への発表をもって公表されます。

○研究代表者

国立病院機構熊本医療センター 産婦人科 坪木純子

○当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 産婦人科 坪木純子

○問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 産婦人科 坪木純子 (Tel 096-353-6501)